

募集定員
10名
※参加無料※

釧路湿原を学び

釧路湿原を歩き

地域の歴史に触れる！

10/9

10/15

10/22

釧路湿原の『すごい！』を 体験しよう

第
1
回

10/9
(日)

釧路湿原を学ぼう ～豊かな自然が育んできた人々の暮らし～

【日 時】 10月9日(日) 10時00分～12時00分
【場 所】 釧路地方合同庁舎 5階第1会議室
【講 師】 新庄 久志 氏(釧路国際ウエットランドセンター技術委員長)
坪岡 始 氏(標茶町博物館 学芸係長)

第
2
回

10/15
(土)

フィールド訪問 ～身近にある大自然を歩こう～

【日 時】 10月15日(土) 9時30分～12時00分
【場 所】 温根内ビジターセンター周辺
【案内人】 新庄 久志 氏(釧路国際ウエットランドセンター技術委員長)

第
3
回

10/22
(土)

フィールド訪問 ～湿原の恵みが支えた地域の歴史に触れよう～

【日 時】 10月22日(土) 9時30分～12時00分
【場 所】 標茶町博物館およびサルボ・サルルン展望台周辺
【案内人】 坪岡 始 氏(標茶町博物館 学芸係長)

※本講座は「連続講座」です。3回通してご参加ください。

主催：釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会
(事務局：環境省釧路自然環境事務所)

私たちは釧路湿原の応援団です

フィールド訪問（10月15日実施分） ※荒天時中止

木道を離れ、普段は立ち入ることができない湿原を歩きます。小川を越え、ハンノキ林を抜けると、そこにはヨシ・スゲの大地。伏流水の流れを足裏に感じながら、日常とは全く異なる釧路湿原を体験します。（※湿原内への立入りは関係者調整のもと特別に実施します。）

案内人：新庄 久志 氏

帯広市出身。

1972年4月に釧路市立博物館に入り植物をはじめ長年湿原の研究に携わる。現在、釧路国際ウェットランドセンター技術委員長。環境ファシリテーター。



タイムスケジュール(予定)

- 9:30 ● 温根内ビジターセンター駐車場 集合
※現地集合を予定しています。難しい場合は、別途ご相談ください。
- 9:45 ● 右岸堤防から湿原内に
※河川内など足元の悪い中を歩く可能性があります。胴長をご用意します。
- 11:30 ● 温根内ビジターセンターで内容振り返り
- 12:00 ● 現地にて解散

フィールド訪問（10月22日実施分） ※荒天時中止

タイムスケジュール(予定)

- 9:30 ● 標茶町博物館 駐車場に集合
※現地集合を予定しています。難しい場合は、別途ご相談ください。
- 9:45 ● 博物館訪問の後、サルボ・サルルン展望台周辺に車で移動
- 11:30 ● 標茶町博物館 で内容振り返り
- 12:00 ● 現地にて解散

湿原の豊かな自然の恩恵のもと育まれた私たちの祖先の暮らしを学びます。湿原周辺にある竪穴住居跡やアイヌの人々が築いたチャシ跡の現地などを訪問し、地域の自然とともにあった祖先の営みに触れます。

案内人：坪岡 始 氏

旭川市出身。

2001年6月に標茶町博物館に入る。町内の遺跡発掘調査の他、アイヌ文化、明治～昭和までの標茶の歴史に関し調査研究を進めている。



過去の市民講座の様子等はここから（再生普及行動計画オフィスHP）→



申し込みについて

FAXもしくはメールで下記の「必要事項」をお知らせください。（※お電話での受付は致しません）

- 【申込期限】 9月28日（水）正午まで ※申込者多数の場合は抽選となります（初めて参加される方を優先します）。なお、参加可否は30日までに回答します。
- 【対象】 3回通して参加できる方（フィールド訪問では、湿原内や展望台で1～2時間程度歩きます）
- 【参加費用】 無料
- 【必要事項】 ①お名前 ②住所 ③連絡先電話番号 ④所属（ある場合のみ） ⑤性別 ⑥生年月日（②、⑤および⑥は保険加入のため）
※個人情報については、本講座開催にかかる目的以外には一切使用しません。
- 【留意事項】 新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が大幅に変更および中止となる可能性があります。フィールド訪問の最終的な行程や、持ち物など詳細は参加者確定後改めてお知らせします。

【お申し込み先】

釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス（運営：公益財団法人北海道環境財団）
FAX 0154-56-2267 E-mail : wanda4@heco-spc.or.jp

※内容についてのお問い合わせは運営者事務所（☎ 011-218-7811 土・日・祝休み）でお受けします。